

審査員プロフィール

◆パイ・ル/Pai Lu(白 珏路)◆

- 博士（統計学）
- 台湾事故傷害・安全促進学会 学会長
- 台湾社區安全推進センター センター長
（セーフコミュニティ支援センター及びセーフスクール支援・認証センター）
- 国際セーフコミュニティネットワーク 理事
- アジア地域セーフコミュニティ支援センター連合 理事長



ジョンズホプキンス大学（アメリカ）等で博士課程及びポスドク（研究員）として教育を受けた後、台湾医科大学及び国防医学院（いずれも台湾）において生物統計学及びセーフティプロモーションを指導してきた。

SC に関しては、台湾における傷害予防及び安全向上の分野における先駆者であり、2002 年にセーフコミュニティを台湾に導入して以来、SC 支援センターである「台湾社區安全推進センター（TCSPC）」のセンター長として、これまで 30 を超えるコミュニティを指導し、20 以上のコミュニティを認証に導いたことから「台湾のセーフコミュニティの母」として慕われている。

さらに、アジア地域セーフコミュニティネットワークの副理事長、アジア地域 SC 支援センター連合の理事長を務め、台湾だけでなくアジア地域の SC 推進に大きく貢献してきた。日本においても、豊島区やほとんどの SC 推進自治体を訪問しており、SC 及び ISS の審査及び指導に関わっている。前回の豊島区の審査も担当されている。

◆チョ・ジュンピル/Cho Joonpil (趙 竣泌)◆

- 医学博士
- アジョー大学救急医療部（韓国水原市） 教授
- 地域安全向上センター（同上）^(*) センター長
- 国際セーフコミュニティネットワーク 副理事長
- セーフコミュニティ公認認証審査員



(*) セーフコミュニティ支援センター・インターナショナルセーフスクール
支援・認証センター

1983 年 延世大学医学部卒業後、外科医として経験を重ね、1996 年より救急外科医となる。受傷による救急外来の患者の対応をするなかで、予防の重要性を感じるようになる。

その後、アメリカでの研究時代に SC の概念に出会ったことをきっかけに韓国に SC の概念を紹介した。2000 年に韓国で初めて水原市が SC を導入した際に支援したことをきっかけに、アジョー大学医学部に地域安全向上センター（韓国における SC 支援センター・ISS 支援及び認証センター）を設置した。国内外での取組みが評価され、2010 年 “International Distinguished Safe Community Career Award” を受賞。

国際 SC ネットワークの副理事長、アジア地域 SC 支援センター連合の副理事長として国内外の SC 推進に尽力している。日本においても、ほとんどの自治体を訪問しており、事前指導や現地指導において救命救急医としての豊富な経験を生かした支援をいただいている。

◆ルシア・ロトリーン/LUCIA MARIA LOTREAN

○博士（衛生学）

○Iuliu Hatieganu 医療薬科大学 地域医学部 教授（ルーマニア）

○セーフコミュニティ公認認証審査員



環境衛生、子ども・若者の衛生、食物及び栄養衛生の分野の専門医師としての経験を積んだのち、オランダの Maastricht 大学で博士号を取得。以降、ルーマニア国内はもとよりスペインやオランダなどで地域医療及び衛生の分野で研究者として実績を重ねている。

傷害予防（特に若い世代の暴力や傷害の予防）に積極的に取り組んでいるなかでセーフコミュニティと出会い、国際セーフコミュニティ会議などでも積極的に研究成果を発信している。

2014 年にセーフコミュニティの審査員の資格を取得し、これまで台湾や韓国を含め約 15 自治体の認証審査を担当してきた。日本の自治体の審査は、今回が初めてとなる。